

様式例11 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	令和6年度
事業者名	事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 石井 宏之 住所 中原区今井南町28-41 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サ ポートセンター	評価者	生涯学習支援担当課長
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部生涯学習支援担当

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数 32,378人、貸室利用件数 2,055件、展示室利用者数 15,791人 総来館者数 67,093人(入口カウンター数+屋外利用者数)※歴代2位の来館者数(昨年度+6,252人)
収支実績	収入総額33,958,163円 (指定管理料30,559,000円、利用料金収入2,568,260円、自動販売機収益311,221円、雑収入519,682円) 支出総額33,132,720円 【参考】令和5年度(第4期) 収入総額29,081,288円(指定管理料25,376,389円、利用料金収入2,853,830円、 自動販売機収益298,097円、雑収入465,886円、補償・補填金87,086円) 支出総額28,649,794円
サービス向上の取組	・「まちの企画室」と事業連携及び地元商店からの協力により「秋・春ふるさと館まつり」を実施した他、2月2日は「防災遊園地&ゴミフェス」、3月20日には「高津陶芸イベント」などを開催し、地域の拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献した。 ・企画展「川崎の地名一地名を通して、市民とともに一」展、「懐かしい高津の風景」、市民ミュージアムとの連携事業として開催した企画展「くらしの移り変わりー明治・大正・昭和の川崎ー」展、「爆誕!!かわさき100年物語(後期展示)」など郷土の理解を促進する取組として実施した。 ・外装工事終了後に、リーフレットを大幅改訂し、外観写真や談話室の改善、移動式の鏡の利用など館利用に関する具体的な情報を盛り込み配布を開始した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																																																																																																				
利用者満足度	事業成果	事業実施による成果の測定を適切に行っているか	10	3(0.6)	6																																																																																																				
		施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか																																																																																																							
	(評価の理由) 施設の設置目的及び事業計画に沿って会議室等の貸出業務や講座、展示などの各種事業を適切に実施した。また秋・春のふるさと館まつりでは、地元の商店の協力による「青空マーケット」や「まちの企画室」との事業連携による様々な展示を開催した。秋のふるさと館まつりでは、大山街道にまつわる展示を初開催し、春のふるさと館まつりでは大山の自然についてのパネル展示をするなど、来館者から大山街道ふるさと館の展示に興味をもってもらえる内容となった。昨年度の来場者数(合計)6,347人を上回り、今年度は7,074人と多くの来場者を獲得した。加えて、市制100周年記念事業として「川崎の地名一地名を通して、市民とともに一」展、「くらしの移り変わりー明治・大正・昭和の川崎ー」展、「懐かしい高津の風景」展、「爆誕!!かわさき100年物語(後期展示)」展などは、いずれも新聞やテレビ等に大きく紹介され注目を集めたことから、展示室来場者は前年度の10,529人を上回り、今年度は15,791人と前年比+5,262人(+50%)増となり過去最多となった。以上の点から、当館は地域における歴史・文化の発信拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献していると認められる。 会議室等の貸出業務については、年間の利用件数が前年度の2,189件から2,055件へと134件減(6.1%減)となり、利用収入も、前年の2,853,830円から2,568,260円へと285,570円減(10%減)となった。理由としては、利用者層の高齢化による利用頻度の減少や近隣地域の学校開放(使用料無料)への流出などが考えられる。 秋・春のふるさと館まつりでは、様々な催しにより来場者数を獲得したこと、また4回の市制100周年時記念事業に係る企画展示でも展示室来場者数も過去最多となり、新聞やテレビ等に大きく紹介されるなど注目を集めた。しかしながら、会議室等の貸館業務については、令和4年度以降下降傾向にあり、今後の状況を見極めたいとのことから、加算対象とはしなかった。 【参考】 ・貸館利用収入比較(単位:円) <table><tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th><th>平均(過去5年間)</th></tr><tr><td>H31</td><td>213,060</td><td>191,350</td><td>263,250</td><td>199,990</td><td>187,020</td><td>222,660</td><td>251,930</td><td>229,250</td><td>197,290</td><td>219,030</td><td>193,040</td><td>139,770</td><td>2,507,640</td><td rowspan="6">2,640,318</td></tr><tr><td>R2</td><td>20,600</td><td>-</td><td>162,400</td><td>213,880</td><td>212,250</td><td>205,720</td><td>236,480</td><td>221,080</td><td>184,900</td><td>128,640</td><td>139,320</td><td>201,840</td><td>1,927,110</td></tr><tr><td>R3</td><td>244,540</td><td>239,620</td><td>245,760</td><td>235,090</td><td>188,500</td><td>243,420</td><td>280,140</td><td>265,080</td><td>233,140</td><td>192,200</td><td>187,850</td><td>229,060</td><td>2,784,400</td></tr><tr><td>R4</td><td>254,660</td><td>261,140</td><td>254,750</td><td>250,560</td><td>236,230</td><td>229,840</td><td>292,700</td><td>287,060</td><td>223,700</td><td>287,880</td><td>296,090</td><td>254,000</td><td>3,128,610</td></tr><tr><td>R5</td><td>212,010</td><td>271,330</td><td>247,490</td><td>244,470</td><td>212,690</td><td>203,450</td><td>279,520</td><td>256,650</td><td>211,370</td><td>203,290</td><td>262,430</td><td>249,130</td><td>2,853,830</td></tr><tr><td>R6</td><td>210,910</td><td>204,540</td><td>236,850</td><td>203,530</td><td>186,890</td><td>200,860</td><td>220,040</td><td>228,400</td><td>198,490</td><td>207,810</td><td>234,890</td><td>235,050</td><td>2,568,260</td></tr></table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)	H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,660	251,930	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640	2,640,318	R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,927,110	R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400	R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	287,880	296,090	254,000	3,128,610	R5	212,010	271,330	247,490	244,470	212,690	203,450	279,520	256,650	211,370	203,290	262,430	249,130	2,853,830	R6	210,910	204,540	236,850	203,530	186,890	200,860	220,040	228,400	198,490	207,810	234,890	235,050
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)																																																																																											
H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,660	251,930	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640	2,640,318																																																																																											
R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,927,110																																																																																												
R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400																																																																																												
R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	287,880	296,090	254,000	3,128,610																																																																																												
R5	212,010	271,330	247,490	244,470	212,690	203,450	279,520	256,650	211,370	203,290	262,430	249,130	2,853,830																																																																																												
R6	210,910	204,540	236,850	203,530	186,890	200,860	220,040	228,400	198,490	207,810	234,890	235,050	2,568,260																																																																																												
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	適正な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	10	4(0.8)	8																																																																																																				
		市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行を図っているか																																																																																																							
	適切な金銭管理・会計手続	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3																																																																																																				
(評価の理由) イベントホール室内機ファンモーターの一部故障により通常よりも長時間かつ高出力で運転しなければ通常の冷房効果が得られない状況となったが、利用者サービスを低下させず、快適な温度環境を提供した一方、こまめな消灯及び地道な節電努力により、電気料金を予算内に収められたこと、エレベーター機械室換気扇交換(オーバーヒートによるエレベーター停止の危険性)についても30万円を超える修繕であったが、利用者の安全面への配慮から早急に対処したことなどは、評価に値する。 今年度はWEBサーバーを他社のものへ変更することにより、サーバー環境を強化し、より多くのアクセスに耐えられるようホームページの環境を整備した。なお、サーバー費用の若干の増額はドメインメールの取得により、これまで契約していたメールの費用を削減することができたため、総額での費用は減少することができた。 利用料金については、未収金を発生させず徴収事務を的確に執行した。																																																																																																									

サービス向上及び業務改善

適切なサービスの提供

市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか

20

4(0.8)

16

郷土の理解を促進する取り組み

郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか

15

4(0.8)

12

利用者の意見・要望への対応

市民のニーズに即した文化事業を行っているか

15

4(0.8)

12

(評価の理由)

秋・春のふるさと館まつりでの「青空マーケット」や「ステージ活動」、6年度3回実施された「まちのマイスター講座」など、地元の専門店及び地元の中学校や高校、ダンス団体、大山街道ふるさと館サポーターズクラブ、大山街道アクションフォーラム運営委員会の「まちの企画室」などと連携し、地元と密着したふるさと館という施設のイメージアップにつながった。また市制100周年記念事業として話題性のある企画展を開催した。特に第5回企画展「爆誕!!かわさき100年物語(後期展示)」では、1月14日にNHKの首都圏ネットワークに取り上げられるなど、来場者も4,730人と6回の企画展でも最大の来場者であった。展示室利用者数においては、前年度10,529人を5,262人上回る過去最多の15,791人となったことは評価に値する。

また、学芸員2名体制となり、第4回企画展では展示解説(ギャラリートーク)を2回行い、日常的にもいずれかの学芸員が勤務する体制が確立されたことで、大山街道等に関する様々な相談に対応できるようになるなど、いままでもきめ細やかな対応につながった。

令和5年度に実施した外壁工事後に、ふるさと館のリーフレットを大幅に改訂し、利用者に必要な情報を提供することができるようになったことは、大きな成果といえる。

【参考】

・展示室入場者数の推移

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
展示室利用(人数)	9,140	9,142	6,401	8,035	11,755	10,529	15,791
常設展(人数)	6,225	4,127	2,173	1,719	2,330	2,385	2,000
企画展(人数)	2,915	5,015	4,228	6,316	9,425	8,144	13,791

「ふるさと館ホームページ」については、委託している専門業者とも協力しホームページの内容をより充実させるための検討を進めた。従来のサーバーは安価であったが、その分通信量などが著しく制限されており、近年アクセス数が増加傾向にあったため、今年度はWEBサーバーを他社のものへ変更することによりサーバー環境を強化し、より多くのアクセス数に耐えられるようホームページ環境を整備した。また、利用者からの問い合わせや申し込みなどに対応できるよう専用メールの整備も行った。このような取り組みにより短期間に集中してホームページをみていただくことができるようになる等、利用者サービスの向上につながったこと、ホームページアクセス数(新規ユーザー数)が伸びていることが認められる。

以上のとおり、地域で活躍する市民の協力、関係団体との連携、ホームページの移行などにより、地元地域に密着した事業を企画し広報機能を強化したことで、ふるさと館利用者総数が6万人を超えたことは、評価に値する。

【参考】

・ふるさと館HP閲覧者数の推移

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規ユーザー数	13,224	12,430	15,712	17,861	15,850	17,945
セッション数(訪問者数)	21,764	20,839	25,680	27,072	24,669	27,935

・ふるさと館利用者総数の推移

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ふるさと館利用者総数 (入口カウンター数+屋外利用者数)	69,222	47,632	59,668	64,068	60,841	67,093

組織管理体制

適正な人員配置

適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか

5

3(0.6)

3

担当者のスキルアップ

業務に関する研修を行い、職員の資質向上に努めているか

5

3(0.6)

3

安全・安心への取組

通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか

5

3(0.6)

3

コンプライアンス

個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか

5

3(0.6)

3

(評価の理由)

令和6年度より財団職員を5名体制として、学芸担当職員を1名増員し学芸業務等の強化を図った。また、全ての利用時間帯において管理運営上の事務処理やふれあいネットを含む利用者への対応をきめ細かに実施した。

施設の安全管理においては1日4回及び必要に応じて館内巡回を行った。また非常時に職員全員が対応できるように、施設内の設備操作や緊急対応を想定した研修等も行った。また高津消防署の協力のもと、通報訓練等やAEDの操作体験も行い、非常時の利用者及び職員の安全管理体制を整えている。

業務実施

施設・設備の保守管理

施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか

5

3(0.6)

3

(評価の理由)

施設の老朽化に対応すべく、定期点検等を遺漏なく行い、施設点検表を用いた管理や各種修繕を実施するなど適切な施設管理がなされている。また、館に貯蔵された貴重な資料の保存対策のため、収蔵庫内の整理や清掃を行った。また、調湿剤の点検と劣化が見られる道標の拓本を採り、現状の記録と確認など、貯蔵資料への適切な対策を行った。

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 加 点	市の政策課題への取組	市制100周年記念事業として話題性のある事業を提供しているか			1
	(評価の理由) 第1回企画展は「川崎の地名一地名を通して、市民とともに一」展(川崎地名研究会主催、当館共催)を実施し、第4回「懐かしい高津の風景」展(当館主催)とともに、市制100周年記念事業としてエントリーして、地域の歴史を振り返る内容として実施した。また第3回企画展「くらしの移り変わりー明治・大正・昭和の川崎ー」展(川崎市市民ミュージアム主催、当館共催)、第5回企画展「爆誕!!かわさき100年物語(後期展示)」(川崎市市民ミュージアム主催、当館共催)は、川崎市の誕生から周辺市町村を巻き込みながら市域を拡大していく様子と、川崎を縦断する南武線の諸相を紹介した。これらの企画展において、新聞やタウンニュース、NHK首都圏ネットワークなどから取材を受けるなど、話題性のある事業を実施したことで、展示室利用者数が前年度10,529人を5,262人上回る過去最多の15,791人となったことは、多くの市民が郷土の歴史に触れる機会を創出したと認められるため、評価に値する。				

5. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準(評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

秋・春のふるさと館まつりでは「青空マーケット」や「ステージ活動」、6年度3回実施された「まちのマイスター講座」など、地元の専門店及び団体と連携した魅力的なイベントを実施し、地元と密着した施設というイメージアップにつながった。また市制100周年記念事業としても話題性のある企画展を開催し、展示においては、過去最多の15,791人となったことは、地域の拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献しつつ、施設の設置目的に沿った運営が行われたといえる。 また、館内各種修繕については老朽化に対応すべく、迅速に行った。また館内の修繕については、エレベーター機械室換気扇交換(オーバーヒートによるエレベーター停止の危険性)や受水槽ボールタップ交換工事(3階の水道停止)、和室の畳張り替えなど、迅速に対応した。 その他、貸室のキャンセル等の対応についても適切に行い、未収金を発生させることはなかった。更に支出や施設設備管理等についても、問題なく適切に行ったと認められる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

博物館事業については、市制100周年記念事業に係る企画展等の実施により多くの来館者があったことから、今後も学芸業務の一層の充実を図り、様々な施設や関係機関との連携を考慮しながら企画展を実施するとともに、市民に学習の場を提供し市民の文化の発展に寄与し、館の存在感を高め来館者増につながる取組を検討されたい。 会議室等の貸出業務については、コロナ禍の令和2年度以来の収入減となったため、その要因を把握し解決策を講じながら、利用者の利便性向上に伴う新規利用者の獲得の実現に向けて継続して工夫と努力を行うこと。 利用料金の徴収については、現在の現金での支払いで未収金が発生していないことを踏まえ、利用料金徴収時に利用者からキャッシュレス導入についての要望はなく、導入コスト等との兼ね合いから非導入との判断をされているが、今後の動向を鑑み、より一層のサービス向上に務めること。 開館から30年が経過し施設が老朽化しているため、日頃から施設点検を徹底し、必要な修繕や市への報告を速やかに行い、安全を確保すること。 これまでに構築した、地域団体との良好な関係を維持すること。 館内には貴重な資料が貯蔵されているため、これまで行ってきた取組を継続し、適切な保存状態を保つこと。 近年、インバウンド需要が増加している状況を踏まえ、市民はもとより訪日外国人や観光客などにとっても魅力ある館となるよう、広報や展示内容の充実に努めるとともに、日本民家園や国際交流センターとの連携についても検討を行うこと。
--